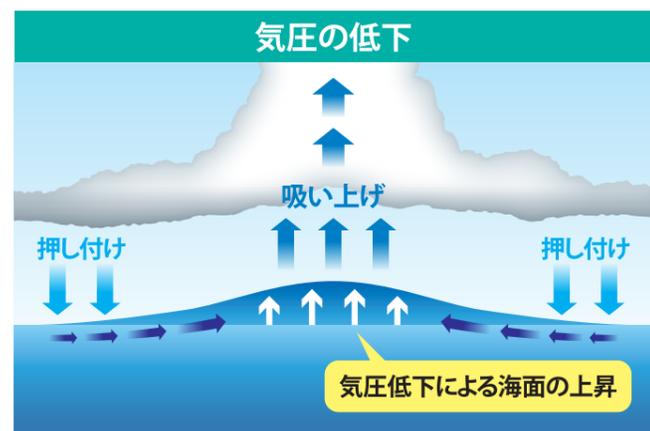
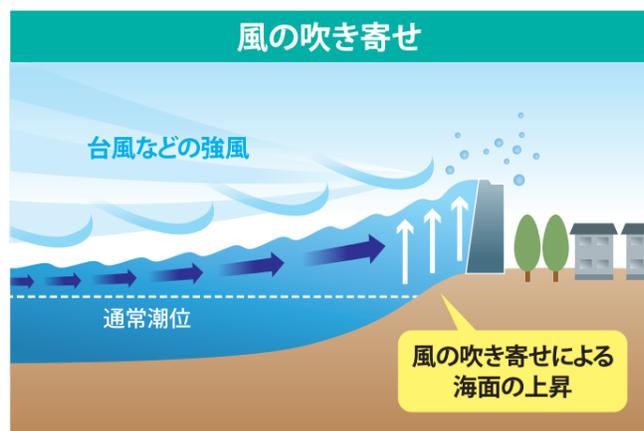


高潮発生のしくみ

高潮とは台風や発達した低気圧によって、海岸付近で海面が異常に高くなる現象です。高潮発生の主な要因としては、以下の2つがあります。



台風や低気圧の中心気圧は周辺部より低いため、周辺部の大気が海面を押しさえつけ、また、中心付近の大気が海面を吸い上げるように作用することにより海面が上昇します。

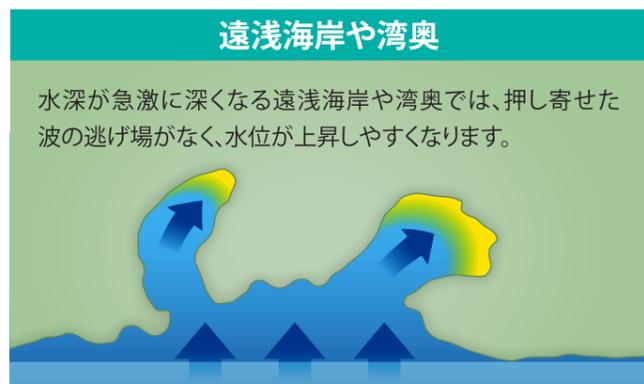


台風などの強風が沖から海岸に向かって長時間にわたり吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられて海岸付近の海面が異常に上昇します。

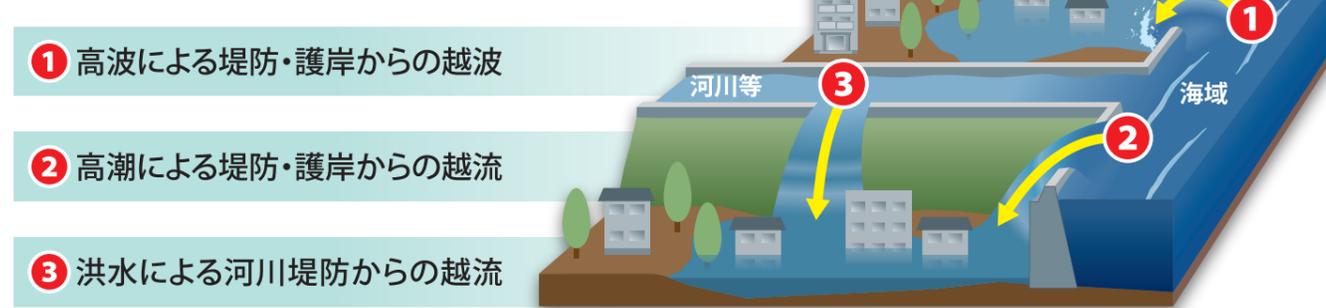
大潮期の満潮と高潮のピークが重なると、海面が上昇しやすくなり危険です。また、大雨により河川の水位が上昇している場合、河口付近ではさらに水位が高くなるおそれがあります。

高潮の被害を受けやすい場所

高潮による海面上昇は、地形や海岸形状によって大きく異なります。次のような場所では高潮災害に対する警戒が特に必要です。



高潮による主な浸水原因



※高潮による浸水想定区域は巻末の玉名市ハザードマップ(大判)で確認できます。また、市のホームページでも閲覧することができます。

大津波警報・津波警報・注意報

地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。大津波警報や津波警報の時は、すぐに以下のような行動をとりましょう。

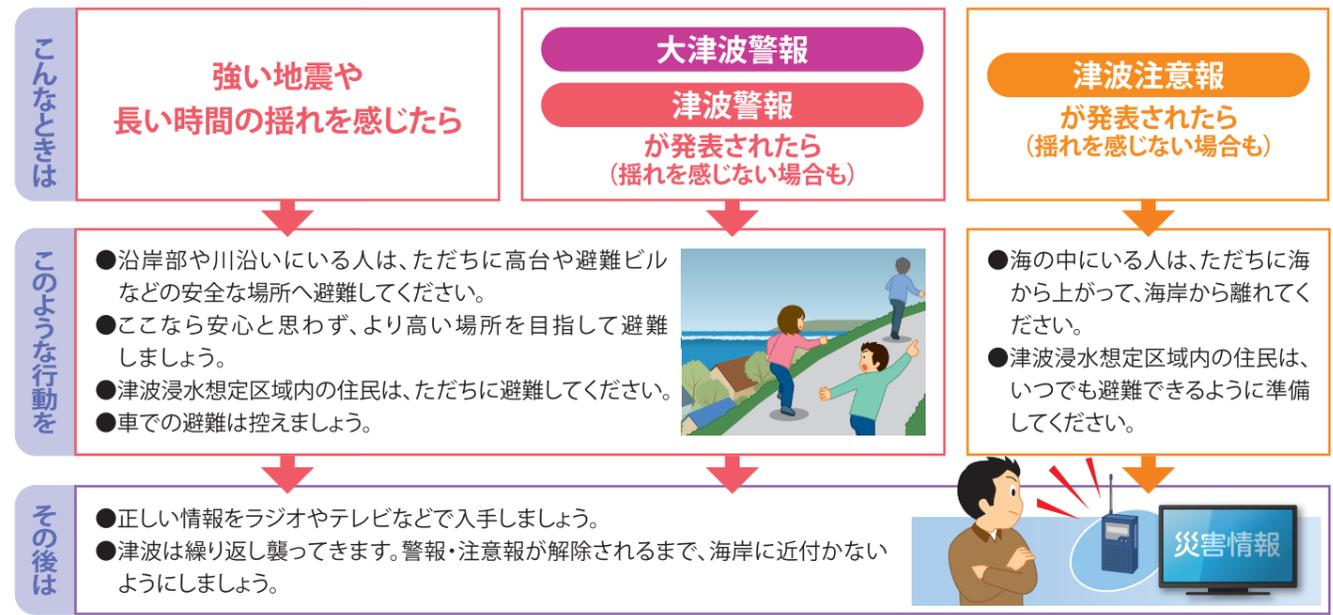
	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表	巨大地震の場合の発表		
大津波警報 (特別警報に位置付け)	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所への避難を続けてください。	●木造家屋が全壊・流失します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。
	10m (5m<予想高さ≤10m)			
	5m (3m<予想高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!	●標高の低いところでは津波による浸水被害が発生します。 ●人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。 津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	●海の中では人は速い流れに巻き込まれます。 ●養殖いかだが流失し、小型船舶が転覆します。

- 震源が陸地に近いと津波警報が間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- 津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- 地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」が発表されます。

津波から身を守る行動パターン

地震発生後、あっという間にやってくる可能性がある津波。津波から身を守るためには、逃げる以外に方法はありません。一分一秒でも早く避難できるよう、そのタイミングと避難方法を覚えておきましょう。

津波の特徴	▶ ジェット機並みの速さ	津波の速さは海が深いほど速く、津波が見えてからでは逃げ切ることができません。
	▶ 予兆もなく襲ってくる	必ずしも、津波の前に引き潮(予兆)があるとは限りません。



※津波による浸水想定区域は巻末の玉名市ハザードマップ(大判)で確認できます。また、市のホームページでも閲覧することができます。

災害を知る【大雨】 災害を知る【洪水】 災害を知る【土砂災害】 災害を知る【高潮】 災害を知る【津波】 災害を知る【地震】 避難所等一覧 災害を知る【地震】 避難所等一覧